

ピックルボール導入について

目的

ニュースポーツ「ピックルボール」により、市民への新たなスポーツ機会を提供し、健康増進（生涯スポーツの振興）と市民の多世代交流を促進し、地域の活性化をはかる。

第3次スポーツ推進計画

基本方針1：誰もがスポーツを楽しむ機会の創出

年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが楽しみながらスポーツに取り組めるよう、スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携してスポーツを楽しむ機会の創出に取り組みます。



背景

- ・ミニテニスの普及（昭和60年頃立川市で発祥）も激しいスポーツ→世代の高齢化
- ・現在のニュースポーツ（ボッチャ、モルック）→もう少し体を動かしたい
- ・技術が必要なスポーツ→楽しみながら運動習慣をつけたい

既存のニュースポーツ（ボッチャやモルック）に、さらに幅広い世代（若年層～シニア）の運動機会創出と、市民の健康寿命の延伸に貢献する新たなニュースポーツ「ピックルボール」を追加する。

ピックルボールとは？

ピックルボールは、1965年にアメリカのシアトルで考案されたラケットスポーツです。テニス、バドミントン、卓球の要素を併せ持っています。

卓球のラケットより一回り大きい「パドル（ラケット）」と穴の開いたプラスチック製のボール（空気抵抗大）を使用します。コートはバドミントンコートと同じ大きさであり、ネットもバドミンントンのネットを使って行うことができます。

ピックルボールの特徴

【簡単】 パドルは軽くてボールは穴あきプラスチック製のため、ラリーが続きやすい。力任せのプレーよりも戦術が重要になる。初心者でも少し練習すれば楽しめる。（動画：「佐世保市長がやってみた」等）

【低負荷】 年齢や体力差に関わらず誰でも楽しめることが最大の魅力である。運動が苦手な人やシニア層でも無理なく楽しめ、多世代交流にも最適である。

事業予定・今後の展開

R 8 年度

- ・ 地区体育会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ推進委員審議会へ、ピックルボール導入について説明を行う。
- ・ 上記の関係団体へ貸し出しを行い、検証（セットの使い方《組み立て》・ルールの理解・貸出しのやり方等）を行う。
- ・ 1 2 月頃、一般団体への貸出開始。

R 9 年度

- ・ さらなる普及啓発及び体験会等の実施を検討。

